

まごころ通信
あぐれむ

㈱ふるさと葬祭 アグレム

TEL 0182(52)3930

FAX 0182(52)3931

虹のホール アグレム

TEL 0182(36)3930

虹のホール アグレム

おものがわ

TEL 0182(56)2630

Vol.02 2011年3月15日発行

2010 JA葬祭 全県統一 人形供養祭

平成22年11月28日 虹のホールアグレム（よこて）で開催いたしました



ふるさと葬祭アグレムが
平成14年 人形供養祭を始めたのが、
子どもにとって、人形や
ぬいぐるみは、一緒に暮ら
した友達であり、成長の記
録です。また大人にとって
も親しい人からの贈り物、
旅のお土産、そして自分や
家族の歴史をとどめるもの
でもあります。使い古して
捨てるのではなく、丁寧に
供養してその人形にまつわ
る記憶、その記憶をとりま
く人達に想いを巡らせるこ
とで、感謝の気持ちを実感
することができるのではな
いでしょうか。



家族や友達のようにいとおしんできた
人形を送り出す心は百人百様。一番最初
にできた友達だったという着せ替え人形
やぬいぐるみ。おぼあちゃんからプレゼ
ントされたというお雛様、家族の形見：
さまざまなお想いのつまった多種多様な人
形。そんな大切な人形とのお別れの機会
をお手伝いできればと毎年執り行っ
てまいりました。

毎回、各ホールで開催される毎に、近
隣からたくさんの方々を訪れ、数千体の
人形やぬいぐるみで祭壇が埋め尽くされ
ます。

これまで、9年に渡り11回執り行われ
てきた人形供養祭には、そんな人達のさ
まざまな別れがありました。

虹のホールアグレム おものがわ
ご案内

安心・まごころのセレモニー

「虹のホールアグレム おものがわ」は平成21年7月に、アグレムの第2ホールとしてオープンいたしました。
当ホールは70席からなる葬儀式場のほか、最大46名のご遺族がのどかな田園風景を眺めながら、ごゆっくりと供養していただける会食室を設けております。また12畳の和室にはキッチンを完備し、ご遺族、ご親族の皆様が控室としてご利用いただけます。また、車椅子やベビーベッドを常設し、小さなお子様連れの方や、お年寄りの方も安心してご来館いただける設備となっております。



当ホールは、第1ホールに比べ小規模ではありますが、地域の皆様が身近にご利用いただける施設内容となっております。
場所は雄物川中央公園に隣接しており、西部（雄物川）斎場より車で5分となっております。
大切な方との別れの時…
100人いれば100通りある
『思い』
にスタッフ一同、まごころ込めてお手伝いいたします。

住所 横手市雄物川町
沼館字稲荷前六二
※ホール内はいつでも見学可能です。
ご来館の際は予めご連絡いただきますようお願いいたします。

ふるさと葬祭

みどりの会

入会随時
受け付け中

「ふるさと葬祭みどりの会」は葬儀全般を安心してまかせられる会員制度です。
どなた様でもご入会いただけ、特典も盛りだくさん



「虹のホールアグレム」ではお客様のご要望に幅広く応えるよう努めております
葬儀の全てを熟知したスタッフが故人のお人柄を偲びまごころ込めてお手伝いいたします

提案します。安心・まごころ葬儀
（株）ふるさと葬祭 **アグレム** 24時間受付 年中無休 0120-87-2630
TEL 013-0345 横手市大雄字本庄道北堰間13

発行 / (株)ふるさと葬祭アグレム(大雄本社) 横手市大雄字本庄道北堰間13 TEL 0182-52-3930 FAX 0182-52-3931
ホームページ <http://www.ja-sousai.co.jp/furusato/>

人がこの世に生を受けてから亡くなるまでの間には、たくさんさんの祝い事や儀式、節目の行事など様々な営みがあります。

昔から伝わる伝統や風習、土地柄や地域性によってその形には違いがあります。

ここでは、誰しもに必ず訪れる人生の結び。

『葬儀』にスポットをあて、いざという時に役立つ横手地域の一般的な葬祭のマナーや情報を皆様にお伝えしたいと思います。

死亡届け・入棺

●死亡診断書とは？

死亡が確認された時は、医師から死亡診断書を必ず受け取ります。交通事故死など変死の場合は死体検案書ももらいますが、これは死亡診断書と同じ証明書となります。

●死亡届け

葬儀の日程が決まったら死亡届けをします。

故人の本籍地の役所か死亡地の役所、または届出人の住所地の役所に届けなければなりません。死亡確認後7日以内となっていますが、火葬許可証をもらわなければいけないので、出来るだけ早く提出します。土、日、祝日も受け付けています。

届出には、届出人の印と医師に署名・押印してもらった死亡診断書を添えます。死亡届が受理されると死体火葬許可証と斎場使用許可証が発行されます。

●入棺

葬儀の前日に行うのが一般的ですが、ご遺族のご希望や遠方からおこしになる方の都合に合わせて行うこともあります。横手地域では夕方に行うことが多いようです。

入棺の仕方は地域や宗派によって違いがありますが、身内の方々を中心となってご遺体を拭き清めます。これが湯灌です。清拭に使うお湯はさかさ水といい、最初に水を入れてから湯を入れさましたぬるま湯で行いました。最近ではアルコールを含ませたガーゼや脱脂綿で拭くのが一般的になりました。

清拭の後、ご遺体の衣服を改めます。白装束に手甲、脚絆、白足袋、わらじ姿、そして三途の川の渡し賃という六文銭をいれたずた袋を首にかけるという形もあります。これを旅仕度といいます。(浄土真宗では旅支度は必要とされていません)

ご遺体の着替えが済みましたら、棺に納めて入棺は終わりとなります。その際、故人が生前に愛用していたものを一緒に納める場合もあります。

このようにして、身内の方が中心となつて行う入棺ですが、最近では専門の納棺師に依頼して行うことも増えてきました。

今回は死亡届け・入棺の大まかな流れを記載いたしました。また、横手地域で大多数を占める仏式の情報をお伝えしましたので、他宗教におきましてはこの限りではない場合もありますので、ご了承下さい。

ふるさと葬祭アグレムでは
葬儀や法事、お見送り等の

「事前相談」

も承っております。

お気軽にご相談下さい。

葬祭ディレクターとは…

「葬祭ディレクター」とは、平成8年に設立された厚生労働省認定の準国家資格で、葬儀に必要な知識と技術を学科と実技で審査し証明する制度です。

儀式の運営・司会はもとより、遺族の悲しみに心から奉仕を行い、きめ細かなサービスと気配りで皆様のサポートするのが葬祭ディレクターの役割です。

ふるさと葬祭アグレムでは、今年度新たに1級葬祭ディレクター3名、2級葬祭ディレクター3名が加わりました。これからも皆様のお役にたてるよう努めて参りますので、よろしく願いいたします。

(株)ふるさと葬祭アグレム
葬祭ディレクター資格取得者数

- | | |
|------------|----|
| 1級葬祭ディレクター | 6名 |
| 2級葬祭ディレクター | 9名 |



ホール内では施設のご案内、葬祭に関する相談コーナー、業者協賛の各種販売を行いました。
また会食室ではおにぎり、豚汁など軽食を無料で振る舞い法要開始までのひとときを過ごしていただきました。



祭壇に並べられた人形を前に供物、生花、お水をお供えた後、今回は平鹿町明沢の香最寺住職様による読経、法要参加者の皆様より御焼香をしていただき、人形供養祭についての法話を賜りました。
その後、ご参加いただいた皆様に、テレビや電化製品、食料品などが全員に当たる抽選会を催し、大感謝、大成功のもと人形供養祭を終えることが出来ました。

これからも、物を大事にする心感謝する心、家族への愛情や、人と人との繋がりの大切さを再確認する場として、人形供養祭を続けて行けるよう努めてまいります。

ひとつひとつに思い出があり
見るたびに場面が浮かびます。

愛犬がよく遊んでいました。
臭いも染み付いています。
とても思い出深い人形です。

いつも私を励ましてくれた
人形でした。今までありがとう。

あなたと人形の思い出…

～アンケートより抜粋させて頂きました～

娘が幼児の頃に、母が京都旅行のお土産に買ってきてくれました。名前をつけて大変大切にしてきた人形です。

祖母や両親が買ってくれ、小さい頃の遊び相手で、仲良くしてきたお人形だったのできちんと供養してお別れしたかった。

今年もよこてホールとおものがわホールにおいて計2回の人形供養祭開催を予定しております。どなたさまでもご参加できます。是非ご参加下さい。